

山口エコ・グリーン作戦推進講座 地球温暖化対策の技術を見てみよう

日 時 平成20年6月5日(木) 10:30~15:00

会 場 山口県セミナーパーク
株式会社トクヤマ 徳山製造所

参加者 36人

共 催 山口県地球温暖化防止活動推進センター

1 スケジュール

- 10:00~10:30 あいさつ、日程説明
- 10:40~11:25 セミナーパークの温暖化対策実証施設等見学
保水性舗装・太陽光発電・緑のカーテン(現地)
屋上緑化(環境学習コーナーの模型)
- 11:25~11:40 午前の部のまとめ(地球温暖化について)
- 12:40 セミナーパーク出発
- 13:20~14:50 (株)トクヤマ 徳山製造所見学
会社概要・環境への取組説明
南陽工場、徳山工場、多結晶シリコン展示ルーム見学
- 14:50~15:10 質疑応答

2 活動内容

(1) 温暖化対策実証施設等見学

オリエンテーションの後に2班に分かれ、保水性舗装の現地、太陽光発電と緑のカーテンの現地及び環境学習コーナーの3箇所を見学し、センター職員が説明を行った。

参加者から、保水性舗装に関しては「通常のアスファルト舗装と比べて経費的にはどの程度違うのか」、太陽光発電では「太陽光の何%程度が有効利用されるのか」「いつ頃から実用化されたのか」、屋上緑化では「芝生の根で建物が傷むことはないのか」などたくさんの質問が出た。



《太陽光発電パネル》



《緑のカーテン》



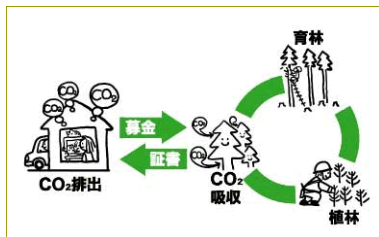
《環境学習コーナー 保水性舗装と屋上緑化の模型》



《保水性舗装》

(2) 午前部のまとめ

地球温暖化に対する世界の取組の経緯、京都議定書で定められた日本の削減義務と現状等について説明。午前中に見学した温暖化対策技術の中には、植物の蒸散作用や気化熱を利用したものが、家庭でも同様の効果を利用して打ち水や緑のカーテンなどで手軽に実践できることや、二酸化炭素を相殺するために植林や森林保護等を行う“カーボンオフセット”に誰でも参加できることなどを紹介した。



(カーボンオフセットの考え方)



(3) 企業見学

周南市にある株式会社トクヤマ徳山製造所において、工場見学等により企業の温暖化への取組を学んだ。

(概要)

会社概要と製造所の環境への取組説明（環境安全部 松谷課長）

↓

バスで移動しながら南陽工場と徳山工場を見学（説明；総務グループ田原さん）

↓

東総合工務室大会議室で多結晶シリコン工場の概要説明（Si 製造部 賀藤課長）

展示ルーム見学後、会議室において質疑応答

同社の環境対策の特色として、廃棄物の高いリサイクル率（有効利用率 94.15%でほとんど再利用されている）、埋立廃棄の削減（ゼロエミッション率 99.9%）、社外廃棄物の積極的な受入（下水汚泥・石炭灰などはセメント原料として、廃プラスチックや廃タイヤなどは燃料として利用）などが挙げられる。

また、太陽光発電用太陽電池の原料ともなる多結晶シリコンの生産量は日本最大で世界でも 4 位。多結晶シリコンの説明を受けた東総合工務室の外のカーポート屋根には実際に 12.3kW（セミナーパークの約 4 倍）の太陽光発電システムが設けられており、展示ルーム内の表示板では見学当日の 14:50 現在の数値は発電量 81kWh、太陽光発電の貢献度 25%となっていた。



質疑応答では、「工場内の発電の原料のうち石炭の占める割合はどの程度か」「家庭から出されるプラスチックごみも利用しているのか」などの質問が出され、「発電原料はほとんどが石炭で、廃プラスチックや廃タイヤは割合的にはわずか」「家庭ごみはいろいろなものが混ざっているので、民間企業から出される廃プラスチック（塩ビを除く）を利用している」と回答を得た。

なかなか見る機会のない工場を詳しい説明を受けながら見学でき、また展示ルームではたくさんのスタッフに参加者の質問に対応していただいたおかげで、短い時間ではあったが参加者の満足度が高い内容となった。